

## 安曇野ちひろ美術館 2026年春の展覧会のご案内

2026年3月1日(日)～6月7日(日)

ちひろ 心のふるさと 信州

96才、画家。ユゼフ・ヴィルコン。—ポーランドの巨匠—

ちひろ美術館コレクション 世界に生きる動物たち

平素は格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。安曇野ちひろ美術館の2026年春の展覧会詳細について、別紙の通りご案内申し上げます。ご高覧のうえ、ぜひご掲載・ご取材賜りますようお願い申し上げます。

## プレス用作品画像データ 借用・誓約書

以下の内容をお読みいただき、必要事項をご記入のうえ、FAXにてお送りください。

本展覧会をご紹介いただける場合、リリース内に掲載の作品画像データをお貸し出しいたします。

貸出画像一覧をご覧いただき、ご希望の画像にチェックを入れてください。企画書等とあわせてお送りいただければ幸いです。

## 掲載にあたっての注意事項

- 必ず絵のそばに作家名・作品タイトル・制作年を明記してください。
- トリミングや、文字が絵にかかるようなレイアウトはご遠慮ください。
- データ等チェックのため、校正段階で原稿をお送りください。
- 掲載紙／誌をご送付ください。

## 読者・視聴者へのプレゼント用招待券のご提供

本展広報用として、作品図版掲載を条件に、1媒体につき、招待券を5組10名様分ご用意しています。

お届けは掲載紙／誌をご送付していただいてからとなりますので、あらかじめご了承ください。

ご所属

お名前

E-mail

ご住所 〒 -

TEL. FAX

掲載紙／誌名

月 日発行 号

画像受取希望日

月 日まで

プレゼント用招待券

希望する • 希望しない

備考

## ■誓約

- 借用デジタルデータを上記目的以外に使用しないことを誓約します。
- 借用デジタルデータを無断で編集、改変しないことを誓約します。
- 借用デジタルデータを無断で転用しないことを誓約します。
- 借用デジタルデータを作業上、やむなくPC等にコピーする場合は、作業後、必ず、同データを削除することを誓約します。

上記事項に同意し、万が一、違約した場合は、然るべき損害賠償を負担します。

## 貸出画像一覧

※所蔵先の記載のない作品はちひろ美術館蔵

No.	作品	check
1	いわさきちひろ 緑の風のなかで 1973年	
2	いわさきちひろ スキーをする子ども 1973年	
3	いわさきちひろ 白骨温泉 入浴する夫・善明 1950年6月19日	
4	白骨温泉スキー場にて 息子・猛と 1957年	
5	いわさきちひろ 山道を行く男の子『りゅうのめのなみだ』(偕成社)より 1965年	
6	いわさきちひろ わらびを持つ少女『あかまんまとうげ』(童心社)より 1972年	
7	いわさきちひろ 料理をする母・文江 1950年6月16日	
8	いわさきちひろ 緑の風のなかの少女 1972年	
9	ユゼフ・ヴィルコン 画家の自画像 1993年	
10	ユゼフ・ヴィルコン『ミンケパットさんと小鳥たち』(らんか社)より 1963年	
11	ユゼフ・ヴィルコン『あるクジャクのぼうけん』より 1963年	
12	ユゼフ・ヴィルコン『ちびおおかみ』習作 1993年	
13	ユゼフ・ヴィルコン アフリカン・ブルース 1995年	
14	ユゼフ・ヴィルコン『ブラウンさんのネコ』表紙習作 1987年	
15	ユゼフ・ヴィルコン『金のひかりがくれたもの』(評論社)より 1997年	
16	ブライアン・ワイルドスミス(イギリス)『りすのはなし』(らくだ出版)より 1974年	
17	ヤヌシ・グラビヤンスキ(ポーランド)『カヤのための詩』より 1969年	
18	村上康成(日本)『ようこそ森へ』(徳間書店)より 1988年	

借用者署名

印

画像削除予定日

年 月 日



公益財団法人いわさきちひろ記念事業団

安曇野ちひろ美術館

chihiro.jp



お問い合わせ

広報担当 田邊・山本・松本・小林

〒399-8501 長野県北安曇郡松川村西原3358-24  
TEL.0261-62-0773 (業務用) FAX 0261-62-0774  
E-mail : apublicity@chihiro.or.jp

# ちひろ 心のふるさと 信州

<同時開催>

96才、画家。ユゼフ・ヴィルコン。—ポーランドの巨匠—

ちひろ美術館コレクション 世界に生きる動物たち

2026年3月1日(日)～6月7日(日)

安曇野ちひろ美術館 展示室1・2

主催：ちひろ美術館  
後援：信濃毎日新聞社、市民タイムス、abn長野朝日放送、長野エフエム放送株式会社

「ここは私の故郷」。

いわさきちひろは、幼いころから両親の出身地である信州の自然に親しんできました。戦争中には母の実家の松本に疎開し、終戦の日を父の実家の梓村（現・松本市）でむかえました。戦後、両親は開拓農民として安曇野・松川村に入植し、ちひろはこの地に足しげく通うようになります。その後の人生でも信州との縁を大切にしたちひろにとって、この場所は「心のふるさと」でした。

本展では、信州にじみのあるそばやりんごが描かれた作品や、黒姫高原に建てた山荘で描いた絵本『花の童話集』『万葉のうた』『あかまんまとうげ』などの作品を展示します。また、ちひろが大切にしていた信州での生活がうかがえる写真を、松川村など信州各地のスケッチとともに展示します。



1 いわさきちひろ 緑の風のなかで 1973年

## いわさきちひろ (1918 ~ 1974)

福井県武生（現・越前市）に生まれ、東京で育つ。東京府立第六高等女学校卒。藤原行成流の書を学び、絵は岡田三郎助、中谷泰、丸木俊に師事。第二次世界大戦後、紙芝居や教科書、絵雑誌、絵本など子どもの本を中心に画家として活躍。生涯にわたって子どもや花を描き続けた。1974年没、享年55。現存する作品は約9600点。



公益財団法人いわさきちひろ記念事業団  
安曇野ちひろ美術館

## 展覧会の見どころ

## 登山！スキー！温泉！

ちひろは、登山好きな両親の影響もあり、幼少のころからすでに北アルプスの山に登っていました。新婚の夫を誘って大町スキー場や白骨温泉にでかけた際のスケッチ、息子・猛と白骨温泉スキー場のゲレンデで撮影された写真も残っています。



2 いわさきちひろ  
スキーをする子ども  
1973年



3 いわさきちひろ 白骨温泉  
入浴する夫・善明 1950年6月19日



4 白骨温泉スキー場にて 息子・猛と 1957年

## 信州の自然のなかで

## 描かれた絵本たち

小谷村にある温泉での逗留中に描かれた『りゅうのめのなみだ』(1965年)と、1966年に黒姫高原に構えた山荘にて制作された『花の童話集』(1967年)『万葉のうた』(1969年)『あかまんまとうげ』(1972年)の作品を展示します。信州で描かれたスケッチが絵本づくりにどう活かされていったかを紹介します。



5 いわさきちひろ 山道を行く男の子  
『りゅうのめのなみだ』(偕成社)より 1965年



6 いわさきちひろ わらびを持つ少女  
『あかまんまとうげ』(童心社)より  
1972年

## 家族のふるさと 松川村

長野県北安曇郡松川村。現在は安曇野ちひろ美術館が建つこの場所は、ちひろにとって、両親が戦後に開拓農民として入植した地であり、両親に一時預けたひとり息子に会うために足しげく通った場所でもあります。当時の風景や、ちひろたちの生活がうかがえるスケッチや写真の数々を紹介します。



7 いわさきちひろ 料理をする母・文江 1950年6月16日



信州松川村にて、右から猛を抱く母文江、  
ちひろ 1951年7月4日



8 いわさきちひろ 緑の風のなかの少女 1972年

## 出展作品数

約 90 点 写真資料数 約 25 点



公益財団法人いわさきちひろ記念事業団

安曇野ちひろ美術館

chihiro.jp



## お問い合わせ

広報担当 田邊・山本・松本・小林

〒399-8501 長野県北安曇郡松川村西原3358-24  
TEL.0261-62-0773 (業務用) FAX 0261-62-0774  
E-mail : apublicity@chihiro.or.jp

# 96才、画家。 ユゼフ・ヴィルコン。 —ポーランドの巨匠—

&lt;同時開催&gt;

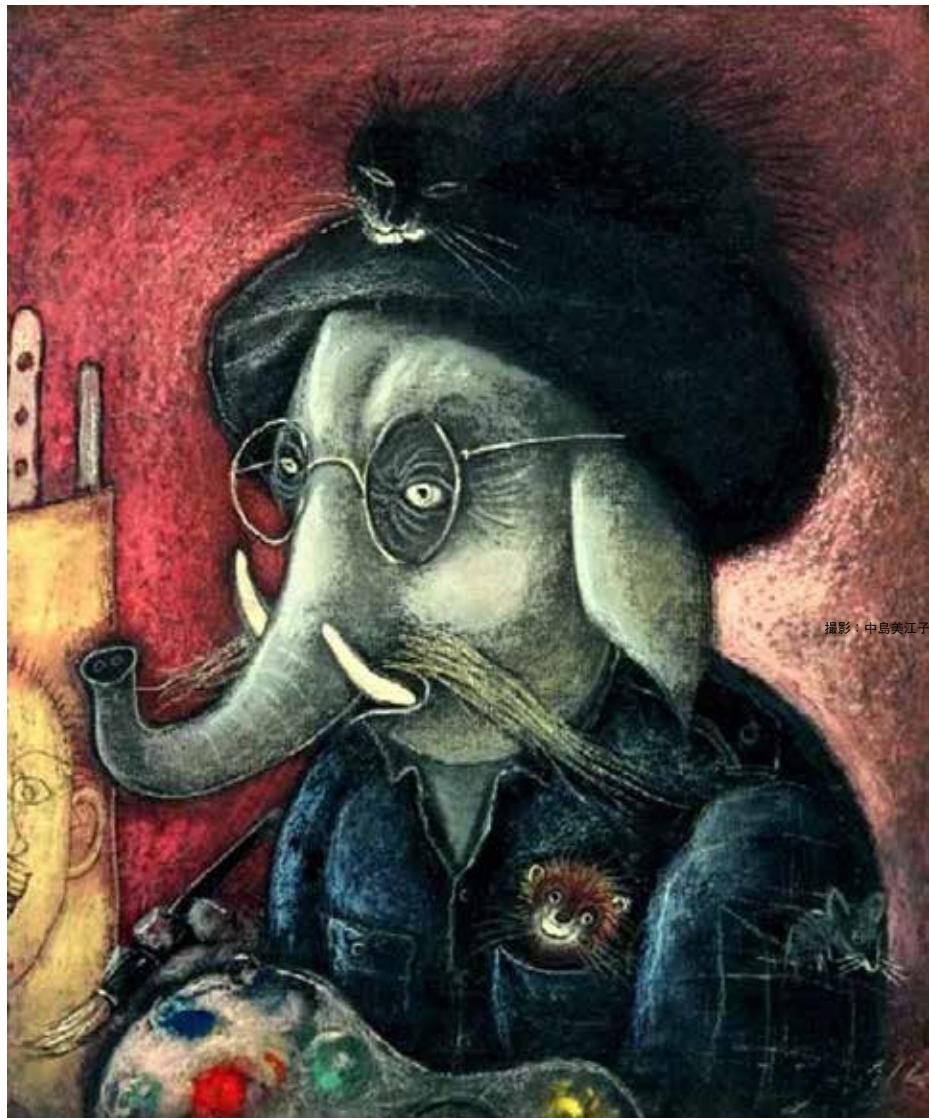
ちひろ 心のふるさと 信州

ちひろ美術館コレクション

世界に生きる動物たち

## 美の冒険家

ポーランドで96才の今も現役の画家として活動を続けるユゼフ・ヴィルコン。動物たちを主人公にしたその絵本は、ポーランドのみならず、世界、そして日本でも半世紀にわたり愛されてきました。本展では、ちひろ美術館の130点を超えるコレクションより、1960年代から1990年代までの絵本原画や立体作品を、技法の変遷に注目して紹介します。また、写真やことば、近年の映像などをとおして、この芸術家の魅力をたっぷり伝えます。当館では25年ぶりとなる、ヴィルコンの展覧会をご堪能ください。



9 ユゼフ・ヴィルコン 画家の自画像 1993年

10 ユゼフ・ヴィルコン  
『ミンケバットさんと小鳥たち』(らんか社) より 1963年

2026年3月1日(日)～6月7日(日)

安曇野ちひろ美術館 展示室4

主催：ちひろ美術館

後援：絵本学会、(公社)全国学校図書館協議会、(一社)日本国際児童図書評議会、日本児童図書出版協会

協力：

 ポーランド文化センター  
Institut Polonais de Tōkyō

ARKA

撮影：中島美江子

### ユゼフ・ヴィルコン Józef Wilkoń (1930- )

ポーランドのボグチツツェに生まれる。クラクフ美術大学で絵画を、ヤギエヴォ大学で美術史を学ぶ。1957年よりイラストレーター、グラフィック・デザイナーとして活躍。1959年のライプツィヒ国際図書デザイン展グランプリを皮切りに、1969年BIB金牌、1991年『地球の4人の息子たち』でモントリュイ絵本展グランプリ、など国内外での受賞多数。200冊近い絵本のほか、タブロー、彫刻、舞台美術、装丁などの分野でも活躍。



公益財団法人いわさきちひろ記念事業団  
安曇野ちひろ美術館

**展覧会の見どころ ヴィルコンを知っていますか？**

ヴィルコンの絵本はポーランド国外でも翻訳出版がされています。いわさきちひろの本棚にも、絵本『ミンケパットさんと小鳥たち』がありました。繰り返し来日したヴィルコンには、日本で翻訳された絵本も多くあります。あなたもどこかで彼の絵本を見ているかも？

**動物を愛し、描き続けた画家**

子どものころから自然豊かな環境で育ち、さまざまな生き物に接していたヴィルコンは、動物や自然を愛し、描き続けています。彼の作品、絵本には人間顔負けの個性的な動物たちが登場します。ヴィルコンという苗字にも、2つの動物の名前が入っています。(wilk=オオカミ、koń=馬)

**変化する技法**

水彩画や、パステルや、金色の使用など、ヴィルコンは実験をしながら画材や技法を替えてきました。また、木やブリキなどを使って動物や魚、鳥たちなどの彫刻もつくっています。安曇野ちひろ美術館に常設されている「アフリカン・ブルース」や天井の魚たちもヴィルコンの作品です。異なる魅力を放つ作品の数々をお楽しみください。

**出展作品数 約 90 点**



11 ユゼフ・ヴィルコン  
『あるクジャクのぼうけん』より 1963年



12 ユゼフ・ヴィルコン  
『ちびおおかみ』習作 1993年



13 ユゼフ・ヴィルコン アフリカン・ブルース 1995年



14 ユゼフ・ヴィルコン  
『プラウンさんのネコ』表紙習作 1987年



15 ユゼフ・ヴィルコン  
『金のひかりがくれたもの』(評論社)より 1997年



公益財団法人いわさきちひろ記念事業団

安曇野ちひろ美術館

chihiro.jp



お問い合わせ

広報担当 田邊・山本・松本・小林

〒399-8501 長野県北安曇郡松川村西原3358-24  
TEL.0261-62-0773 (業務用) FAX 0261-62-0774  
E-mail : apublicity@chihiro.or.jp

# ちひろ美術館コレクション 世界に生きる動物たち

&lt;同時開催&gt;

ちひろ 心のふるさと 信州

96才、画家。ユゼフ・ヴィルコン。

—ポーランドの巨匠—

2026年3月1日(日)～6月7日(日)

安曇野ちひろ美術館 展示室3

主催：ちひろ美術館



16 ブライアン・ワイルドスミス（イギリス）  
『りすのはなし』（らくだ出版）より 1974年

17  
ヤヌシ・グラビヤンスキ  
(ポーランド)  
『カヤのための詩』より  
1969年

## 動物いっぱい！ 世界の絵本画家たちはどう描く？

ちひろ美術館コレクションのなかから、世界各地の森や島々に生息する動物が描かれた作品を紹介します。絵本画家たちのなかには、動物を好んで描いた画家や、何度も自然のなかに足を運び、そのスケッチや記憶を頼りに制作した画家がいます。個性豊かな画家たちが描く、世界の動物たちをご覧ください。



18 村上康成（日本）『ようこそ森へ』（徳間書店）より 1988年

### 展覧会の見どころ 世界各地に生きる動物たち

森のカケスを描く村上康成の『ようこそ森へ』（徳間書店）や、里山のきつねを描く箕田源二郎の『ごんぎつね』（ポプラ社）、太平洋に浮かぶコマンドル諸島の動物たちを描く、マイ・ミトウーリッチ（ロシア）の『コマンドルの島じま』（新読書社）など、世界各地に生きる動物たちを描いた作品を紹介します。

### 動物を描いた個性豊かな絵本画家たち

ポーランドのヤヌシ・グラビヤンスキは、観察とスケッチに基づき、動物の瞬間の動きや表情を巧みに捉える筆さばきが特徴です。旭山動物園の飼育員という経験をもつあべ弘士は、アフリカの大地を何度も訪れ、サバンナの自然とそこに生きる動物たちを描いています。

### 出展作品数

約30点



公益財団法人いわさきちひろ記念事業団

安曇野ちひろ美術館

chihiro.jp



お問い合わせ

広報担当 田邊・山本・松本・小林

〒399-8501 長野県北安曇郡松川村西原3358-24  
TEL.0261-62-0773（業務用） FAX 0261-62-0774  
E-mail : apublicity@chihiro.or.jp

## 展覧会関連イベント

## ●松本猛スライドトーク

## ちひろと旅する信州

日時：3月22日（日）14：00～15：30

講師：松本猛（ちひろ美術館常任顧問）

参加費：会場500円（入館料別）

オンライン500円

会場：安曇野ちひろ美術館

定員：会場40名、オンライン100名

申し込み：要事前予約（公式サイト／TEL.／Peatixにて）

Peatixにてお申し込みの方に限り、収録動画の見逃し配信（1ヶ月間）をご覧いただけます。



松本猛

いわさきちひろのひとり息子・松本猛によるスライドトークです。作品や写真のスライドを見ながら、母・ちひろとの思い出や、信州で生まれた作品の背景、展示の見どころについて語ります。  
※安曇野ちひろ公園では、9：30～15：00にまつかわ花咲きまつりを開催します。

## ●あかちゃんとおでかけしよう！

## ファーストミュージアムデー

日時：4月12日（日）10：00～11：00

参加費：無料（入館料別）／定員：親子10組

対象：0～2歳児と保護者

申し込み：要事前予約（公式サイト／TEL.にて）

あかちゃん絵本の読み聞かせや展覧会のギャラリーツアーを親子で楽しみましょう。

## ●4/19(日)は、安曇野ちひろ美術館の開館記念日とヴィルコンデー！

・11：30～12：00

ユゼフ・ヴィルコンの絵本の読み聞かせ（定員20名）

・14：00～15：00

松本猛によるユゼフ・ヴィルコン展 ギャラリートーク（定員20名）

※当日のイベントは、参加費無料（入館料別）／申し込み不要です。

当日ご来館の方全員に、ちひろのポストカード（非売品）をプレゼント。

## ●松本猛ギャラリートーク

## ちひろ 心のふるさと信州

日時：5月24日（日）14：00～15：00

講師：松本猛（ちひろ美術館常任顧問）

参加費：無料（入館料別）／定員：20名／申し込み：不要

いわさきちひろのひとり息子・松本猛によるギャラリートーク。  
展示作品を見ながら、母・ちひろとの思い出や作品に込められた思いを語ります。

## ●絵本のじかん

日時：3月7日（土）・4月4日（土）・5月2日（土）11：30～12：00

参加費：無料（入館料別）／定員：20名／申し込み：不要

絵本の読み聞かせを行います。あかちゃんから大人まで、どなたでもご参加いただけます。

## ●ギャラリートーク

日時：3月21日（土）・4月18日（土）・5月16日（土）

14：00～ちひろ展

14：30～ヴィルコン展

参加費：無料（入館料別）／定員：20名／申し込み：不要

開催中の展覧会の見どころを学芸員がわかりやすく解説します。

## ●ちいさなおはなしの会 at 絵本カフェ

日時：3月29日（日）11：00～

参加費：無料（入館料別）／定員：20名／申し込み：不要

絵本カフェにて絵本の読み聞かせを楽しみましょう。

## そのほかのイベント

## ●ちひろが愛した

## 安曇野・まつかわ 北アルプスパノラマウォーク

主催：松川村観光協会 協力：安曇野ちひろ美術館

日時：5月17日（日）9：00～13：00

申し込み：要事前予約（松川村観光協会TEL.0261-62-6930にて）

## 年間スケジュール

## ●6月12日（金）～9月6日（日）

- ・トットちゃん広場10周年記念展 「みんな、いっしょだよ。」
- ・ようこそ！ザ・キャビンカンパニー新収蔵作品展  
—がっこうにまにあわない・ゆうやけにとけていく—
- ・ちひろ美術館コレクション 星の下の物語

## ●9月11日（金）～12月15日（火）

・いわさきちひろと堀文子 童画の世界

・絵本の舞台を求めて 赤羽末吉の日本一周

・ちひろ美術館コレクション 波にゆられて舟の旅

## 展覧会基本情報

展覧会名	ちひろの心のふるさと信州 96才、画家。ユゼフ・ヴィルコン。 —ポーランドの巨匠— ちひろ美術館コレクション 世界に生きる動物たち
会期	2026年3月1日（日）～6月7日（日） ※会期は予告なく変更になる場合があります。 ○開館時間＝10：00～17：00 (4/25～5/6は 9：00～17：00) ○休館日＝第2・4水曜日 (4/25～5/6は無休)
入館料	大人 1200円／18歳以下・高校生以下無料 団体（有料入館者15名以上）、65歳以上、学生の方、18歳以下の子どもに同伴する保護者（子ども1名につき2名まで）は 900円／障がい者手帳ご提示の方とその介添えの方（1名）は無料／年間パスポート 3000円
交通	○電車の場合＝JR 大糸線信濃松川駅より約2.5km (タクシー5分、レンタサイクル15分、徒歩30分) ○車の場合＝長野自動車道安曇野I.C.より約30分

※上記のイベントおよび開館情報は予告なく変更になる可能性がございます。最新情報につきましては、公式サイトをご覧いただき、お電話でお問い合わせください。



公益財団法人いわさきちひろ記念事業団

安曇野ちひろ美術館

chihiro.jp



お問い合わせ 広報担当 田邊・山本・松本・小林

〒399-8501 長野県北安曇郡松川村西原3358-24

TEL.0261-62-0773（業務用） FAX 0261-62-0774

E-mail : apublicity@chihiro.or.jp